

5 記入・活用例

(1) 盲学校(小学部)

(様式1)

フェイスシート

(作成日：平成17年 月 日 学年：小学部1年)

● 氏名・住所等

本人	ふりがな	さとう いちこ	性別	生年月日	平成10年 9月 1日生
	氏名	佐藤 一子	女	電話番号	- -
	住所	〒 000 - 0000 市.....			
	入所施設	⊖ ・ 有			
	主障害	視覚障害	他の障害		
	診断名	緑内障 強度近視 網膜剥離	療育手帳	(. . 交付)	
	身障手帳	1種 5級 (H13.4.1交付)	精神障害者保健福祉手帳	(. . 交付)	
保護者	氏名	佐藤 五郎	緊急連絡先	自宅 携帯 (高橋)	- - -
	住所	〒 000 - 0000 市.....			
家族構成	家族構成図		氏名	生年・学年	続柄
	<p>五郎 花子</p> <p>一子 一郎</p> <p>(出身地 市)</p>		佐藤 五郎	S 3 7	父
			佐藤 花子	S 4 6	母
			佐藤 一子	小 1	本人(数)
			佐藤 一郎	H 1 2	長男
在籍校	学校名	北海道 盲学校	担当教諭		
	住所	〒 000 - 0000 市.....	電話番号	TEL	- -
			FAX	- -	
		寄宿舎入舎	有	・	⊖

● 妊娠・出産・発育の様子

胎 生 期	妊娠中の母親の健康状態： <input checked="" type="radio"/> 良・他 妊娠中の病気等： <input checked="" type="radio"/> 無・有(病名) 薬の服用状況： <input checked="" type="radio"/> 無・有			・ 妊娠期に気になったこと 特になし	
出 生 期	妊娠期間	39週	出生体重	3009g	・ 医師の診断や出産時に気になったこと ・ 母は、出生児の両眼の瞳が白色が かっ てみえたため、眼科を受診した。
	分娩	<input checked="" type="radio"/> 普通・逆子・鉗子・吸引・帝王切開・他			
	様子	<input checked="" type="radio"/> 普通・衰弱・仮死・双子・臍帯てん絡・他			
	泣き方	<input checked="" type="radio"/> 良好・他 (アプガースコア (A P S))			
	黄疸	<input checked="" type="radio"/> 普通・軽・重	保育器使用	<input checked="" type="radio"/> 無・有(日)	
乳 幼 児 期	首の座り (0歳8か月) はいはい(0歳8か月) 一人歩き (1歳) 人見知り(1歳2か月) 指差し (0歳9か月) 片言を言う(1歳) おしっこやうんちを予告する (2歳2か月) 一人でおしっこ(2歳5か月)・うんち(2歳10か月) トレーナーなどの簡単な服を一人で着替える(3歳2か月)			・ 乳児期、幼児期に気になったこと	

● 療育・教育の状況

幼児期	幼稚園(週1回) 盲学校幼稚部(週4回)	・ 備考(就学の変更等)
小学校	北海道 盲学校	
中学校		
高校		

● 医療にかかわる特記事項

<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑内障に加えて強度近視があり、網膜剥離を起こす可能性が高いため、日常生活や学校生活における出会い頭の衝突やボール運動による眼の周辺への衝撃などに留意することが必要である。 ・ 長時間の読書など、うつむき姿勢による眼圧の上昇に留意することが必要である。
--

● 特記すべき生育歴及びその他の事項

特になし

● 視機能上の観点

眼疾患名	右	緑内障、強度近視、網膜剥離		左	緑内障、強度近視、網膜剥離		
視覚障害原因	(<u>先天性</u>)・感染症・外傷・腫瘍・全身病・原因不明・その他)						
視力	遠方視力	右	0.05 (0.1)	近方視力	右	0.1	最大視認力 視標：1.0 視距離：5cm <u>右眼</u> 左眼
		左	0.02 (0.05)		左	0.08	
		両	0.05 (0.1)		両	0.1	
諸検査・観察による見えの状態 TAG、ドットカード等の諸検査及び見えた物とその距離、光への反応の様子等の観察結果	・ 読書時には、本に対して顔を少し左に向け、右眼の外側の視野で読んでいる。						
視野	正常・ <u>狭窄</u> (<u>求心性</u> ・右・左)(右眼：左44°、右40°、上25°下30° 左眼：左35°、右40°、上20°、下25°)・暗点						
光覚	<u>正常</u> ・明順応障害・暗順応障害 ()				羞明	有・ <u>無</u>	
眼位	<u>正常</u> ・内斜視・外斜視 ()						
色覚	<u>正常</u> ・色弱・色盲 ()				眼球振とう	<u>有</u> ・無	
眼鏡使用	<u>矯正眼鏡</u> ・ <u>弱視眼鏡</u> ・遮光眼鏡・コンタクト		その他 (メガネ 氏)				
眼鏡の処方箋	右眼 0.05 (0.1× - 9.0D) 左眼 0.05 (0.1× - 10.0D)						
視覚管理上の配慮等	・ 緑内障に加えて強度近視であり、網膜剥離を起こす可能性があるため、日常生活での衝突などによる衝撃に留意する必要がある。(運動時のアイガード使用) ・ 長時間のうつむき姿勢による眼圧の上昇に留意する。						

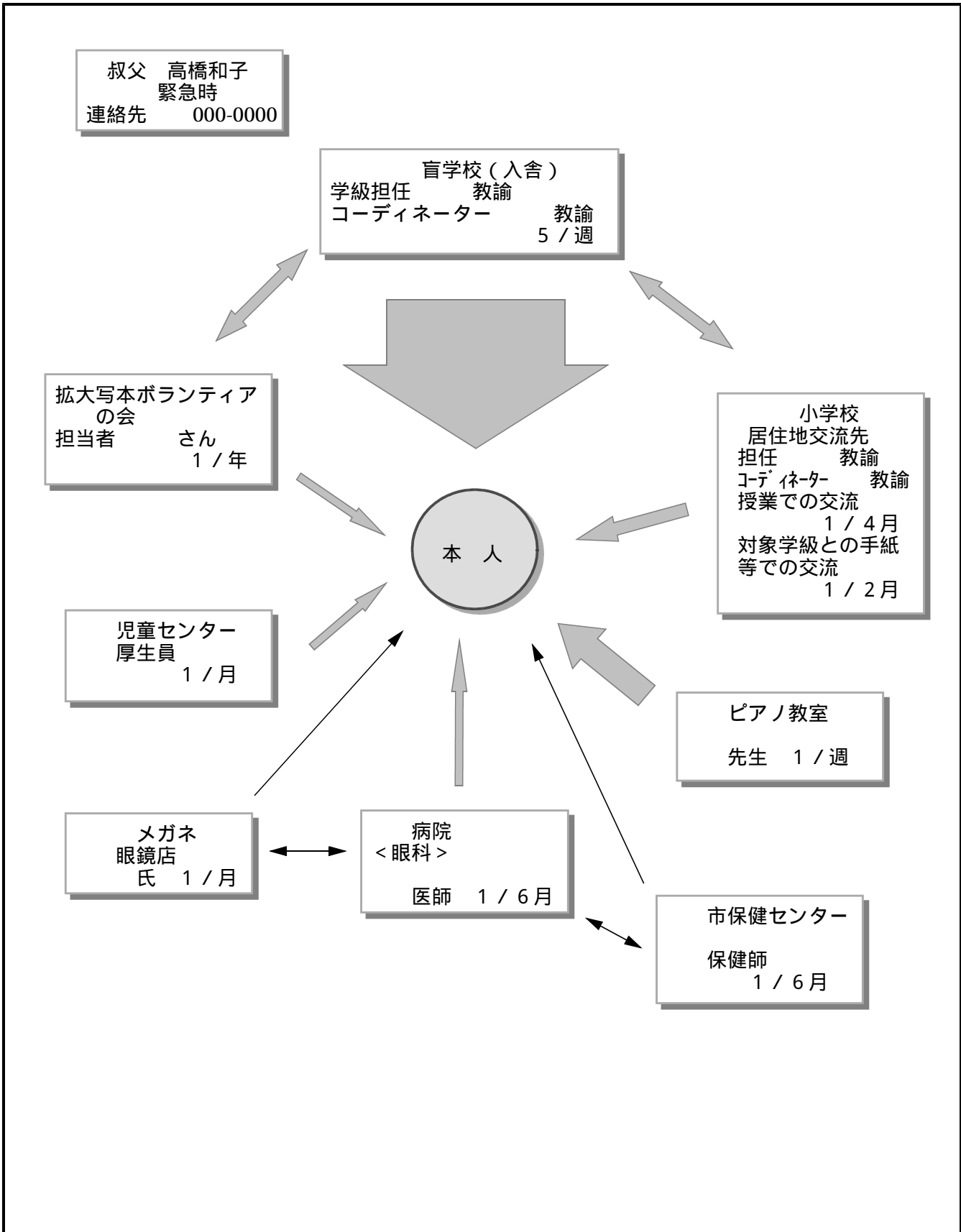
● 教育的観点

使用文字	<u>普通の文字</u> ・点字・無		読み	64文字/分	書き	28文字/分(視写を計測する)	
漢字検定	25級 (小学1学年 <u>A</u> ・B・C)						
点字検定	50音	級	転写	級	聴写	級	
読書評価 <u>MNREAD-Jk</u> or MNREAD-J	B/W	臨界文字サイズ	1 logMAR	27Pt	最大読書速度104文字/分		
	W/B	臨界文字サイズ	1 logMAR	27Pt	最大読書速度98文字/分		
	MNREAD-Jk漢字読み対応 臨界文字サイズ修正値 正規の値に0.1logMAR加えた値	B/W	臨界文字サイズ	1.1 logMAR	35Pt		
		W/B	臨界文字サイズ	1.1 logMAR	35Pt		
視覚補助具等の使用	単眼鏡の使用	<u>有</u> ・無	メーカー：ナイツN107-8L 倍率×口径：8×32 7.8°				
	ルーペの使用	<u>有</u> ・無	メーカー：イッセンパツE128-06 倍率×口径：6倍 23D 5mm				
	拡大読書器の使用	有・ <u>無</u>	メーカー：	書見台の使用	<u>有</u> ・無		
	照明器具の使用	<u>有</u> ・無	メーカー：yamagiwa	アイガードの使用	<u>有</u> ・無		
補装具・日常生活用具使用状況	単眼鏡、ルーペ						

● 特徴

得意なこと、好きなこと、興味・関心の強いこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ ピアノの演奏が好きである。 ・ テレビでアニメを見ることやアニメのキャラクターの絵を描いたりすることが好きである。 ・ アニメでは特に が好きである。 ・ アニメの主題歌に合わせてをふりを付けて踊ったり歌ったりするのが得意で、カラオケが好きである。
苦手なこと、嫌いなこと、避けなければならぬこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見知らぬ同年代の子どもと接することが苦手で、避けるような態度を示す。 ・ 牛乳やチーズなどの乳製品が苦手である。 ・ 網膜剥離の不安があるため、頭部や眼の周辺への強い衝撃を避ける。
身辺処理	<p><衣服の着脱、食事、排せつ等の状況></p>
健康の保持	<p><日常生活における、健康の自己管理の状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分で点眼薬を入れることができるが、忘れないよう声かけが必要である。
心理的な安定	<p><社会参加に際しての、心理面や対人関係の状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初対面の子どもと話をすることが苦手なため、他校との交流などの場面では、配慮が必要である。大人とは話することができる。 ・ 保護者と離れることへの不安が強く、外出などの時は、常に手をつないで移動している。
環境の把握	<p><的確に判断し行動するための、感覚を活用した環境の把握の状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校内、学校敷地内、学校近郊のスーパーまでの道のりやその店内の環境を理解し、歩行することができる。 ・ 屋外における人の区別は衣服の特徴で判断していると思われる。 ・ 室内の家具類の配置については分かるが、窓から見える校庭内の物の配置の理解は難しい。
身体の動き	<p><日常生活や作業に必要な、基本動作の習得の状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 書写やはさみなど、手指を使う動作はできるが、箸で食べ物を取ることが苦手である。 ・ ボール投げの動作はでき、10m程度投げられるが、ボールを追視することが難しく、ボールを投げることはできない。 ・ 跳んだり走ったりする動作はできる。
コミュニケーション	<p><場や相手に応じた、コミュニケーションの状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学級などの慣れた環境では、自分の考えを積極的に表現することができる。 ・ 学級の友達とは大きな声で話したり、遊ぶことができる。

● 支援マップ



【凡例】

- : 支援や連携の方向性を表す。
- ➡ (thick arrow) : 支援や連携の強さを線の太さで表す

【補足】

(様式2)

週間生活スケジュール

氏名(佐藤 一子)

時間 \ 曜日	月	火	水	木	金	土	日
:							
6:00	起床	起床	起床	起床	起床	起床	起床
8:00	学校	学校	学校	学校	学校		
10:00						父親と公園等へ外出	
12:00							
14:00							家族で外出
16:00	児童センター	同級生の家で遊ぶ	家庭でピアノの練習	ピアノ教室	同級生と家庭で遊ぶ		
18:00							
20:00	勉強	勉強	勉強	勉強	勉強	勉強	勉強
	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝
22:00							
24:00							
:							

週・月・年単位など定期的なスケジュール	<ul style="list-style-type: none">毎週木曜日はピアノの練習に通っている。毎月第2水曜日は眼科に定期通院している。毎月1回、地域の児童センターを利用している。
---------------------	---

その他	特になし
-----	------

個別の教育支援計画

氏名	佐藤 一子	性別	女	学校名	北海道 盲学校
作成者	担任	作成日	平成 年 月 日(. . 修正)		

● 本人・保護者の希望

	現在の希望	将来の希望
本人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 勉強を頑張りたい。 ・ ピアノがもっと上手になりたい。 ・ 友達をたくさんつくりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アニメーション作家になりたい。
保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に盲学校以外の友達をつくり、親から離れて遊べるようになってもらいたい。 ・ 自ら家庭学習に取り組むようになってもらいたい。 ・ 家の近所のスーパーや公園などに行けるようになってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高等盲学校に進学し、将来は自分に適した仕事に就き、職業的に自立してもらいたい。

● 課題の設定の理由

<p>1 対人関係の向上を図る 盲学校の小集団の中では、自分の気持ちを相手に伝え、楽しく遊んだり、意欲的に活動することができる。また、本児の話を聞いて、受け止めてくれる大人に対しては、初対面でも心を開きコミュニケーションを取ることができる。しかし、小学校に通う同年代の子どもとともに活動する場面では、必要なことを話したり、相手の言葉かけに答えたりすることがなかなかできない。また、地域でも同年代の子どもと会うことを避ける様子が見受けられる。このような実態から、周りの支援を受け、整えられた環境の中で、地域の子どもたちと活動する機会を持ち、その楽しさを味わい、対人関係における見通しや意欲を育てることが必要である。その際、本児の得意なピアノの演奏などを手がかりとしながら、経験を持たせ、自信を育てることが望まれる。</p> <p>2 環境の把握と生活経験の拡大を図る 外出場面での不安感が強く、親のそばをなかなか離れようとしにくい様子が見られる。家の近くへも自分から外出しようとはせず、家庭で過ごすことが多い。このような状況から、単眼鏡を活用した環境を把握する技能を高めるとともに、本児の興味に沿いながら、戸外で活動する機会を増やし、活動に対する意欲や、活動を通して自信を育てることが必要である。</p> <p>3 家庭学習の習慣化を図る 学習については、学校では意欲的に参加している。しかし、家庭学習に取り組む態度や習慣が育っていないことから、家庭と連携し、家庭学習時間の設定や内容を工夫し、家庭で学習に取り組む態度や習慣を育てることが必要である。</p> <p>4 余暇活動の充実を図る 自立した社会生活を送る基礎をつくるため、ピアノや絵を描くなど、好きな活動をできるだけ保障することにより、有意義な時間を自らつくり出せるようにすることが必要である。</p>
--

● 課題・支援の目標

	課 題	支 援 の 目 標 (長 期)
	<ul style="list-style-type: none"> 家庭に帰って地域での生活を充実させるとともに、社会性を育むために、家の近所で一緒に遊べる友達をつくる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域において、一緒に遊ぶ同年代の友人が数人できる。
	<ul style="list-style-type: none"> 学習に取り組む態度を育て、学力の向上を図るために、家庭での学習習慣を身につけることが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日30分程度、ドリルなどの教材を自ら進んで学習することができる。
	<ul style="list-style-type: none"> 人とのかかわりや意欲的に生活する態度を育てる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 近所の店で買い物ができたり、公園へ出かけて遊ぶことができる。
	<ul style="list-style-type: none"> 自分が好きなことを人とかかわりながら深め、余暇を充実させることが望まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のピアノ教室に楽しんで通うことができる。
	評 価	

● 支援内容・機関等

支援の目標(短期)	支援内容	支援機関・連絡先	評価時期	評価
設定された場で地域の子どもとともに遊んだり活動したりすることができる。	・ 居住地校交流を進める。	学校 担当 教諭 ☎ 盲学校 担当 教諭 ☎	H17年 10月	
	・ 児童センター内で の本児の活動を支援する。	児童センター 担当 構成員 ☎	H17年 10月	
保護者に見守られ、毎日夜8時から30分程度学習することができる。	・ 保護者が毎日、学習時間に声かけを行い、学習状況を確認する。	保護者	H17年 10月	
	・ 本児が継続して取り組める内容の課題を毎日用意し、その内容を保護者に知らせる。	担任 教諭	H17年 10月	
近所のスーパーへ行って、買い物やお使いができる。 また、近くの公園へ保護者より先に一人で行き、公園で親と待ち合わせることができる。	・ スーパーまで買い物やお使いに行くこと、及び一人で保護者より先に公園まで行き遊んでいることを働きかける。	保護者	H17年 10月	
	・ 買い物やお使いなどの様子を本人や保護者から聞き、励ましたり、ほめたりして意欲付けをしながら自信を持たせる。	担任 教諭	H17年 10月	
ピアノ教室で、音楽に親しむことができる	・ 見えの状況を理解しながら、本児に合った指導を行う。	ピアノ教室 先生	H17年 10月	
弱視レンズ活用の技能を高める。	・ 弱視レンズを活用し、校庭内の草木や遊具などの特徴を把握する自立活動を行う。	担当 教諭	H17年 10月	
	・ ルーペによる読速度を100文字/分を目標にする。	担当 教諭	H17年 10月	

● 支援者(機関)の連携

項目(会議等) 期 日	連携機関(担当者) コーディネーター	内 容	備 考
個別の教育支援計画 策定会議 平成17年 月 日	保護者、担任、 児童センター 構成員 コーディネーター	<ul style="list-style-type: none"> 個別の教育支援計画についての支援内容及び評価時期等の確認。 	学校の個別懇談(10月)に設定した目標について評価の会議を行うことを確認。

(様式4)

相談・支援の記録

氏名(佐藤 一子)

項目	時期・期間	内容・結果	担当
相談・支援機関等 眼疾患について 眼科	H10年12月 ～現在	・ 緑内障の診断を受ける。 ・ 3か月ごとに受診し、経過観察が必要。	主治医 医師
療育相談 道立特殊教育センター	H11年12月 ～ H12年6月	・ 養育及び視覚障害に対する配慮等の情報提供と支援を受ける。	視覚障害教育室 教育課 担当
療育相談 盲学校	H13年3月 ～ H14年6月	・ 母子教室にて、養育及び視覚障害に対する配慮等の情報提供と支援を受ける。	担当 教諭
身障者手帳の交付 市福祉事務所 保健福祉課	H13年4月	・ 身障手帳交付申請相談・手続きを行う。 (1種5級) ・ 福祉制度について相談する。	こども福祉係長
入学 盲学校	H14年4月 ～ H17年3月	・ 幼稚部へ入学する。	担当 教諭
入園 幼稚園	H14年4月 ～ H17年3月	・ 入園する。	担当 先生
メガネの処方 眼科	H14年4月	・ 眼鏡の処方を行う。	医師
点眼薬の処方 眼科	H15年4月	・ 点眼薬の処方を行う。 タリビット 1日2回、 リンデロン 1日3回	医師
入学 盲学校	H17年4月	・ 小学部へ入学する。	担任 教諭
拡大教科書の依頼 拡大写本ボランティア の会	H17年4月	・ 生活科の拡大教科書の作成を依頼する。	担当

* 相談・支援機関等：相談、治療、訓練、診断、生活支援等の機関などの活用歴